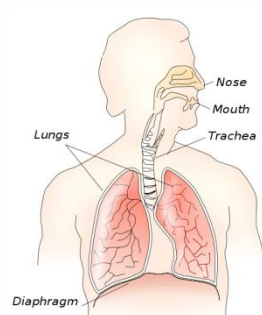


『横隔膜は肺経？胃経？』

2011年 10月19日（水） 東洋鍼灸院 中島 亮二



しゃっくりとは。「しゃっくり hiccup は横隔神経への間歇的インパルス発射によるもので、直接呼吸中枢が刺激されたときに起こると考えられている。内臓、特に胃からの刺激で起こることが多い。数分あるいは数週間も続くことがある」

（生理学 文光堂発行 著者：真島英信）

患者 30代男性（会社員 デスクワーク）
既往歴 脳腫瘍など脳の疾患、肺炎・気管支喘息など呼吸器系の疾患、肝臓、脾臓の疾患、腹部のOPEなどその他特記すべき既往歴はなし。
症状 3日程前からしゃっくりが止まらない
所見 左首のゆがみ、腹直筋の緊張、足三里の反応、右腕のこり
処置 陽明胃経への刺激 太陰肺経への刺激
 欠盆穴 孔最穴
 三里穴 列欠穴
 天枢穴
 豊隆穴 (いずれも寸3 2番鍼使用)

症 状 に 変 化 な し

※按腹による腹圧の刺激を試みるが、しゃっくりが出る為に腹直筋の緊張が強すぎで行わず。



処置 任脈への刺激
 中庭穴
 (知熱灸 約1.5cm程度の円錐形 5壮)

症 状 緩 和 ⇒ や が て 症 状 消 失

※按腹を行う事ができなかったが施灸後には腹直筋も緩み按腹もできるようになる。

考察 中庭穴での施灸は内胸動脈を刺激できたことにより肋間動脈など血流 UP⇒胸全体が弛緩⇒しゃっくりが消失したのではないだろうか？

では生理学上では直接呼吸中枢が刺激された時にしゃっくりは起こるといふのはどの臓器がどのような状態になったら症状がでるのか？また、過呼吸のときの横隔膜はどのようなになっているのか？O-ring を使って関連性を解き明かすことはできないだろうか、大変興味がある。